

東京工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	芸術		
科目基礎情報							
科目番号	0005		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	機械工学科		対象学年	1			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	スケッチブックF8号						
担当教員	小中澤 聖二,前沢 知子						
到達目標							
制作・鑑賞を通して、美術における基礎力の育成を目指します。							
到達目標							
1. 視覚芸術の性質を理解している。							
2. 創造的なプロセスを理解している。							
3. 複数の表現方法を試みることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	アートジャーナルへの記述内容、制作過程、完成された作品について、創造性、独創性、制作過程・思考の深さ、および授業への取り組み姿勢について評価します。		アートジャーナルへの記述内容、制作過程、完成された作品について、時間をかけた丁寧な取り組みを評価します。		アートジャーナルへの記述内容、制作過程、完成された作品について、やる気の無さが見受けられるような場合は再提出となります。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	美術史と同時代の美術（現代美術・メディアアート）について基礎的な知識を習得し、それらを踏まえ作品を制作することを通して、美術を総合的に学びます。またSTEAM教育について学び、実践を行うことで、アートを通じた創造的思考を育成することを目指します。						
授業の進め方・方法	作品制作・作品鑑賞を通して学びます。 （1）美術史と同時代の美術（現代美術・メディアアート）について基礎的な知識について、動画・画像を通して楽しく鑑賞すると共に、基礎的な知識、アートの流れを学びます。 （2）（1）で得た知識と、鑑賞した作品を踏まえて、実際に作品を制作します。						
注意点	F8号のスケッチブック、筆記用具、（描画用具/水彩絵の具・色鉛筆など、ハサミ・ボンド・セロテープなど）を用意すること。個々の自由な発想、ユニークな表現、作品制作に至る思考を重視します。 授業において、複数回少人数でのグループワークを行いますので、欠席しないように注意してください。期間を通してアートジャーナル（アート日記）をつけてもらいます。						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応			
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業							
授業計画							
	週	授業内容		週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション「名刺のデザイン～カリグラフィーから」		名刺作りを通して自己紹介		
		2週	アート思考「Myアート～身近なアートを探してくる」		身近なアートへの眼差しを通して、アート思考を学びます。		
		3週	Artの歴史と文化①「西洋のArtの歴史と文化」		西洋のArtの歴史と文化について、動画鑑賞を通して学んでいきます。		
		4週	Artの歴史と文化②「東洋のArtの歴史と文化」		東洋のArtの歴史と文化について、動画鑑賞を通して学んでいきます。		
		5週	Artの歴史と文化③「諸外国のArtの歴史と文化」		諸外国のArtの歴史と文化について、動画鑑賞を通して学んでいきます。		
		6週	平面制作①「自画像～自分を色で表現しよう」		色彩表現を用いて、自己を表現することを学びます。		
		7週	平面制作②「自画像～自分を形で表現しよう」		構成表現を用いて、自己を表現することを学びます。		
		8週	現代アート・メディアアート		デザイン、現代美術、メディアアートについて、動画鑑賞を通して学んでいきます。		
	4thQ	9週	メディアアート制作「写真を用いて」		写真を用いて、表現することを学びます。		
		10週	立体制作①「アッサンブラージュでmyギャラリーを作ろう」 構想		アッサンブラージュ技法を用いて、表現することを学びます。		
		11週	立体制作②「アッサンブラージュでmyギャラリーを作ろう」 制作		アッサンブラージュ技法を用いて、表現することを学びます。		
		12週	STEM教育からSTEAM教育		STEAM教育の実践について考えていきます。		
		13週	STEAM教育の実践①グループワーク		STEAM教育について、グループワークでの共同制作を通して考えていきます。		
		14週	STEAM教育の実践②グループワーク		STEAM教育について、グループワークでの共同発表を通して考えていきます。		
		15週	まとめ		講義内容の振り返り		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100

基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0